

産地再生関連施設緊急整備事業

都道府県評価報告総括表

事業実施年度(目標年度): 平成24年度(平成26年度)

都道府県名 山梨県

都道府県評価報告表

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・地区種等)	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	メニュー (対象作物・畜種等名)	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	特別特加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種・構造・規模・能力等)	事業費	負担区分			完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成24年)	1年後(平成25年)	2年後(平成26年)	3年後(平成27年)	目標値(平成26年)	達成率				計画時(平成24年)	1年後(平成25年)	2年後(平成26年)	3年後(平成27年)	目標値(平成26年)	達成率					交付金	都道府県・市町村費	その他				
甲州市	フルーツ山梨農業協同組合	果樹(モモ、ブドウ)	【集出荷貯蔵施設等再編利用】(再編後の利用率) 共通所利用率100%	94% = 401.6t/425.8t	72% = 304.6t/425.8t	102% = 458.9t/450t	100% = 450t/450t	102%	集出荷貯蔵施設の利用率が100%以上となった。 モモ出荷量: 458.9t、計画処理量450t、利用率458.9t/450t = 102%	果樹(モモ、ブドウ)	【果樹】(ブドウ)の推奨品種の出荷割合 = 72.3% ブドウの推奨品種の出荷割合 = 189.7t/262.5t × 100 = 67.1% 252t/366.4t × 100 = 68.8%	72.3% 67.1% 68.8%	75.4% = 112.9% = (68.8% 72.3%)/ (75.4% 72.3%) × 100	112.9% = (68.8% 72.3%)/ (75.4% 72.3%) × 100	推奨品種出荷量 テラ17:17.1t 種なし巨峰:113.5t 種なしジョーネ98.9t シャインスカウト22.5t、推奨品種合計252.0t、総出荷量366.4t、推奨品種の割合68.8%			・集出荷貯蔵施設整備(共通所鉄骨2階建、透過式光センサー選果機、前予冷施設)	488,617,500	232,675,000	20,000,000	235,942,500	平成26年3月18日	[成果目標 : 集出荷貯蔵施設の再編後の利用率100%] モモ、ブドウとも栽培管理の徹底と適期収穫の励行により、集出荷施設の計画処理量450tに対し458.9tの出荷があり、利用率が102%と目標を達成することができた。 【成果目標 : ブドウの推奨品種の出荷割合】 推奨品種の「種なしジョーネ」は着色不良や「シャインスカウト」の樹齢も若く、推奨品種の出荷割合は68.8%にとどまった。	集出荷貯蔵施設の再編により、効率的な出荷体制となった。ブドウの推奨品種は、出荷量は目標を上回ったが、出荷割合の増加に向け、推奨品種の高級化に向け、「シャインスカウト」は早期摘粒、強撻心管理等を「種なしジョーネ」はゾヘリ処理等の管理指導を徹底する。	「繰越(平成25年度完了)」			
笛吹市	笛吹農業協同組合	果樹(モモ)	【集出荷貯蔵施設等再編利用】(再編後の利用率) 共通所利用率100%	27% = 408t/1,507t	97% = 615.6t/634t	128% = 810.5t/634t	100% = 634t/634t	128%	集出荷貯蔵施設の利用率が100%以上となった。 モモ出荷量: 810.5t、計画処理量634.0t、利用率810.5t/634.0t = 128%	果樹(モモ)	【果樹】(モモ)の推奨品種の出荷割合 = 50% モモの推奨品種の出荷割合 = 426t/856t × 100 = 76% 598.4t/823.5t × 100 = 63%	50% 76% 63%	60% = 130.0% = (63% 50%)/ (60-50%) × 100	130.0% = (63% 50%)/ (60-50%) × 100	推奨品種出荷量 日川白鳳:263.5t 夢しずく:19.1t 白鳳:193.4t 浅間白桃:122.4t、推奨品種合計598.4t、総出荷量954.4t、推奨品種の割合63%			・集出荷貯蔵施設設置(光センサー選果機、前予冷施設)	224,700,000	104,400,000	21,924,000	98,376,000	平成25年6月15日	[成果目標 : 集出荷貯蔵施設の再編後の利用率:100%] 生産者への栽培管理指導、適期収穫の励行を図るとともに、本事業により透過式光センサーを整備したことでモモの内部品質や糖度の保証、再編によるまとまった出荷量の確保により販売単価が向上し、共通所への出荷者数も増加したことから、利用率は128%と目標を達成することができた。 【成果目標 : モモの奨励品種の出荷割合】 県推奨品種については、各品種の栽培管理指導や成園化による出荷量の増加により、目標を達成することができた。引き続き、有利販売を実現するため推奨品種への改種の推進や、共通所への出荷を促し、県推奨品種の出荷割合の増加を図る。	集出荷貯蔵施設の再編により出荷量が増加し、効率的な出荷体制が確立されている。	「繰越(平成25年度完了)」			

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・地区種等)	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	メニュー (対象作物・畜種等名)	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容(工種、構造、規模、能力等)	事業費	負担区分			完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成24年)	1年後(平成25年)	2年後(平成26年)	3年後(平成27年)	目標値(平成26年)				達成率	計画時(平成24年)	1年後(平成25年)	2年後(平成26年)	3年後(平成27年)					目標値(平成26年)	達成率	交付金				
北杜市	株式会社ドームファーム北杜	野菜(レタス)	当該品目の10a当たりの収量を15%以上増加	2.33/10a	-	6.34/10a		23.5/10a	18.9%		当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合が50%以上	0%	-	100%		100%	100.0%	0	821,897,135	0	0	平成27年3月30日	平成26年度は、出荷期間が約7ヶ月であったため、目標値の23.5には届かなかった。また、契約販売は、全量を株式会社グランバとの契約販売を行うことができた。	現況値の15%以上の収量は達成したが、出荷期間が7ヶ月であったため、目標収量である23.5/10aには至らなかった。今後は年間を通じた栽培ができることから、次年度以降には収量についても目標達成が可能と考える。	「繰越(平成26年度完了)」		

都道府県平均達成率		都道府県総合所見	
61.0	%	<p>・フルーツ山梨農業協同組合の取組について、共選所の利用率については達成率102%と目標を達成したが、ブドウ推奨品種の出荷割合については、全体の出荷量が大幅に増加したため割合は低くなり、達成率はマイナスとなってしまった。今後、推奨品種の高品質化に向けた指導を徹底し、出荷割合の増加を図るため、目標の達成が見込まれる。</p> <p>・笛吹農業協同組合の取組については目標を達成しており、事業の効果が認められる。</p> <p>・株式会社ドームファーム北杜の取組については、契約取引の割合は目標を達成することが出来たが、10a当たりの収量増加については、稼働期間が短かった事、従業員も作業に習熟していなかった事もあり達成率は低くなった。来年度以降は、年間を通じた作業となり、従業員も作業に習熟することから目標達成が見込まれる。</p>	

- (注) 1 別紙様式第4号に準じて作成すること。
- 2 要領第2の1の(2)のアからウの場合は、事業実施後の状況の欄を適宜追加し、記入すること。
- 3 別添資料として事業実施主体から提出のあった別紙様式4を添付すること。
- 4 「事業実施主体の評価」欄と「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所管を記入すること。
- 5 「都道府県総合所見」の欄については、評価実施年度の達成状況について、都道府県全体の総合的な所見を記入すること。
- 6 「都道府県平均達成率」の欄は、都道府県内の各事業実施地区が掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。
- 7 達成率は、(実績 - 計画時) / (年度計画 - 計画時) × 100により求めるものとする。(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する)
- なお、(実績 - 計画時) = 0、(年度計画 - 計画時) = 0となる場合の達成率の記入方法は、以下によるものとする。

(1) 数値目標が漸増する場合

計画時	年度計画	実績	(実績 - 計画時) / (年度計画 - 計画時) × 100	記入方法
0	0	0	(0 - 0) / (0 - 0) × 100 = 0 / 0 × 100	100%
0	0		(- 0) / (0 - 0) × 100 = / 0 × 100	皆
			(-) / (-) × 100 = 0 / 0 × 100	100%
			(-) / (-) × 100 = (-) / 0 × 100 <	皆

(注) 及び は、0以外の数値をいう。

(2) 数値目標が漸減する場合

計画時	年度計画	実績	(実績 - 計画時) / (年度計画 - 計画時) × 100	記入方法
0	0	0	(0 - 0) / (0 - 0) × 100 = 0 / 0 × 100	100%
0			(-) / (-) × 100 = 0 / 0 × 100	皆
		0	(0 -) / (-) × 100 = - / 0 × 100	100%
			(-) / (-) × 100 = (-) / 0 × 100 <	皆

(注) 及び は、0以外の数値をいう。